

議 事 調 書

事案の表示	令和元年度第1回聖籠町総合教育会議
場 所	聖籠町役場3階 第2会議室
日 時	令和元年11月1日(金) 午前9時30分から午前10時20分まで

出席者	会議構成者	聖籠町長	西脇 道夫	
		副町長	夏井 智毅	
		教育長	近藤 朗	
		教育委員	稲田 健一	
			佐久間 千都	
			深井 一成	
			高橋 真弓	
	事務局	総務課	課長	高橋 淳
			課長補佐	山田 孝
			係長	小林 幸宏
		子ども教育課	課長	田中 雅義
			参事	平山 誠
			参事	佐藤 伸一
			課長補佐	宮下 勝敏
			主幹	渡辺 大樹
			主事	阿部 紗也佳
			蓮野こども園	園長
		蓮瀉こども園	園長	渡辺 恵子
		亀代こども園	園長	神田 幸子

【会議の要旨】

町長

10月から幼児教育の無償化が始まったわけですが、以前に町にどのような影響があるかなどの課題や方向性について、教育委員の皆さんにご意見をいただきましたが、それを議論していくには、町の素案を示してほしいとのことでしたので、今回は、その方向性の素案を説明し、皆さんに意見をいただきと思っています。

聖籠町の幼児教育及びニーズについて、現状はどうなのかということを内部で検討しました。

本町では、3つの幼稚園で幼児教育を実施してきましたが、その後保育のニーズが高まり公立の保育園を開設し、その後さらに保育のニーズが高まってきたことから、私立の保育園を誘致し、保育園を増設してきました。

そして、0から2歳までは保育園、3から5歳は幼稚園でこれも幼児教育を基本とした保育機能も付加したこども園のシステムで対応してきました。

女性の社会進出、核家族化などの影響により、保護者のライフスタイル、就労状況の変化に伴い、保育・幼児教育のニーズも変わってきていると考えています。

具体的なことを言えば、兄弟がいたときに、保育園とこども園両方に子どもを送り迎えしなければならないとか早朝保育の時間が保育園とこども園では30分違うなどの意見をもらうようになっています。

このような課題が見えてきた中で、今後の保育・幼児教育のあり方を見直す必要があると考えたところです。

その方向性としては、0から5歳までを引き受ける保育園、認定こども園が必要であると思っていますし、それを公立で行うことは財政的にも厳しい状況ですので、民間の誘致を視野に入れて進めていくと考えると考えています。

その場合、3つの公立こども園は子どもの数が減っていくことになると思うので、その体制についても考えなければならない。

このように今の年齢で区分しているシステムを見直し、0から5歳までを受け入れる施設を提供し選択できるようにし、3つの公立こども園のあり方を検討していかなければならないと思っています。

これは、本来であれば、重要なことであるので、時間をかけて議論し実施していくものですが、無償化が始まり、現実の問題がでてきていることから、ある程度スピード感をもって対応していきたいと思っています。

今回示す素案の基本的な方法性について、了承いただければ、さらに踏み込んで、具体的な課題の検討をしていきたいと思っています。

総務課長

また、先ほど述べました保育園と公立こども園での早朝保育の開始時間が30分違う状況については、来年度から考えていきたと思っていますし、保育ニーズが増加していることにより、待機児童の問題もでてきており、これに対応するために、聖籠こども園で実施している子育て支援センターを町で移行し、保育定員を増やすなども検討しているところです。

このように、来年度から対応できるものは、実施していきたいと思えますし、基本的な方向性についてもなるべく早い時期に対応できるよう今から動いていきたいと考えています。

また、実際に保護者がどのような保育のニーズを求めているのかを早急に把握する必要があると思っています。

このようなことを基本的な方向性としてまとめてみましたので、皆さんからの意見をいただきたいと思えます。

それでは、資料について総務課長から説明をしますので、よろしくお願いいたします。

それでは資料について説明いたします。

概要ですが、本町では幼稚園体制を基本に保育機能を付加した対応を行ってきました。しかしながら、就業環境の変化、核家族化、女性の社会進出並びに国の幼保無償化政策等により、保護者の保育園、幼稚園のニーズが大きく変化し、現状の子育ての体制では十分な対応を成し得なくなってきました。

これらのことから、時勢を見すえた本町におけるこれからの子育てシステムのあり方についての見直しを検討するものです。

次に子育てシステムの現状であります。

町の基本的な子育てシステムは、0から2歳児までは私立保育園で3歳から5歳児は町の幼稚園で保育を行い、幼稚園教育標準時間での利用料を無償として保護者の経済的負担の軽減を図ってきました。

また、町幼稚園では、幼稚園体制を基本に保育園機能を付加し対応を図っています。早朝延長保育のことです。

私立保育園では、増加する保育ニーズに対応するため増築や認可定員数の増を実施してきました。

続いて課題ですが、就労環境の変化、核家族化、女性の進出並びに国の幼保無償化対策等により、保護者の保育園・幼稚園ニーズが大きく変化し、町幼稚園の教育標準時間無償化による優位性がなくなるなど、現行の体制では十分な対応を成し得なくなりました。

保育ニーズの増加により、保育園では収容的に限界に近く、深刻化する保育士不足もあわせ、現状の体制では待機児童発生の恐れが懸念されており、これらへの対策が喫緊の課題となっています。

3から5歳児の保育での保護者の選択肢がなく、保護者要望に対応できていないことへの対策が必要となっています。

きょうだいがいる保護者において、保育園と町幼稚園それぞれに送迎しなければならない不便性への指摘があります。

3から5歳児の保育において、現状には無いといえる教育面や運営面での「互いに刺激し合い向上していくことでの相乗効果」が必要とされます。

0から5歳すべてを町の幼稚園で対応することは、財政的で圧迫の要因となっています。

次に検討方針についてですが、1点目としては待機児童対策であります。

新しい保育士システムへの移行の検討においては、保育園待機児童を発生させないことが必要であり、そのためには、保育園の収容スペースの確保と保育士確保への対策が必要となってきます。

はじめに保育園収容スペースの確保ですが、子育て支援センターの移設で、在宅子育て支援のための子育て支援センターを現行の聖籠こども園からそだちの家へ移設し、聖籠こども園の定員増を図ります。

運営時間帯は、蓮潟こども園の預かり保育開始までとします。

そだちの家での支援センター利用にあたっては、全室使用するのではなく一般開放スペース分は確保する予定です。

これにより、そだちの家の活用向上にもつながることになります。

もう一つは、満3歳到達時での保育園からの幼稚園への早期入園を可能するというものです。

保育園を利用している満3歳に達した児童に対して町幼稚園への入園を可能にすることで、保育園での収容可能数を増やし、年度途中での保育園入園のための受皿を確保します。

町幼稚園入園により幼児教育無償化など、保護者における保育料負担の早期軽減が期待されます。

ただし、町幼稚園でのクラス編成や職員の配置増とならないための定員枠の検討が必要となります。

次に保育士の確保ですが、保育士の人材不足は深刻化しています。そのため、施設の収容能力を確保した場合であっても、保育士が不足することで児童を受け入れることができなくなります。この背景には、責任の重さへの不安や給料に合わないなどの理由が大きいものと考えます。

これを解消するためには、雇用する施設側と町とで協力しながら、支援することが必要であり、給与などの待遇面での改善に向けた検討が求められます。

続いて2点目の検討方針ですが、民間施設誘致とこども園の統廃合で

	<p>あります。</p> <p>様々な保育ニーズに応えるための新子育てシステムは、0から5歳児までの幅広い年齢層の児童を受入れすることができる施設が必要といえます。</p> <p>そのため、現行幼稚園では対応が困難であり、また運営における財政面を考慮すると民間施設の誘致が適当となります。</p> <p>一方で、これにより町幼稚園の利用数が現状より減少することが見込まれることから、町幼稚園体制の見直しを視野に入れなければなりません。</p> <p>3点目は、幼児教育のあり方です。</p> <p>幼児期における教育は生涯にわたる学びの基礎となるものであり、その重要性は言うまでもありません。</p> <p>町幼稚園では本年度から外国語とのふれあいの取り組みを試行しており、今後は拡充することが必要となります。</p> <p>民間施設が誘致された際においては、その施設の教育方針によることとなりますが、町の教育方針への理解を求めつつ、町立施設と民間施設とが切磋琢磨によって、より高い教育水準を目指すことが肝要と考えます。</p> <p>4点目は、保育システム取組へのロードマップです。</p> <p>保護者ニーズへの把握を行い、早い段階での対応を目指します。</p> <p>令和2年度までに運営のための調整等を行い、令和3年度での事業着手により、最短で令和4年度の事業開始を想定した計画を検討します。</p> <p>併せて令和2年度からの町幼稚園と保育園との「早朝保育時間の統一化」を実施予定とします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
町長	<p>それでは、これから委員の皆さんから意見をいただきたいと思います。最初に稲田委員からお願いします。</p>
稲田委員	<p>保護者の就労形態などが変わり、保育ニーズが変わってきたことは十分理解しています。それに合わせて保育システムを変えていかなければならないことは当然のことだと思いますが、あまりにも急ではないかと感じています。教育の見直しは時間をかけてやっていかなければならないと思う。</p> <p>保育ニーズを踏まえたうえの方針であれば、もっとよいと思うので、ぜひニーズ調査を行ってほしい。</p> <p>保護者のニーズに合わせて変えていかなければならないと思うので、その結果と現状の摺合せが重要だと思う。それに合わせて変えることについては異存ありません。</p>

町 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本来であれば、時間をかけて行うことは当然だと思いますが、最短のスケジュールで行った場合の条件で保護者のニーズ調査を行うことによって、より精度の高いものにしたいと思っています。</p> <p>その結果よっては、基本的な考え方も修正する必要があると思っています。</p> <p>また調査結果については、皆さんにお知らせしたいと思っています。</p>
佐久間委員	<p>保護者ニーズの把握については今までしてこなかったわけですね。</p> <p>また待機児童がこれから出るとするのは、蓮漣こども園のことでしょうか？</p>
子ども教育課長	<p>待機児童については、0から2歳児までの保育園の入所希望数が多くなってきているもので、どこのこども園というものではありません。</p>
佐久間委員	<p>わかりました。</p> <p>もし私立に傾いていくことになった場合、こども園の先生方はどうようになるか心配ですが、どのようになるのでしょうか？</p>
町 長	<p>それについては、今後進めていく中で具体的な課題の一つになっていくと思います。</p> <p>0から5歳まで保育希望がある程度あり、受入れ可能な民間施設を誘致し受け入れた場合、こども園の希望者は減るわけですから、3つのこども園を継続していくことは無理になるのではないのか、例えば2か所で十分でないのかとなると場所の問題も出てきますし、職員をどのようにするのかということも出てきます。</p> <p>これについては、具体的どのような方法をとるのかということはこのからの議論になっていきますので、ニーズ調査の結果を基に検討し、具体的な素案を示したいと思っています。そこでまたご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>最近、町政ポストなどでそういう要望やいろいろな意見が増えてきて、実際のところどのくらいのニーズがあるのかを把握したいと思っています。</p> <p>その結果幼稚園の先生方をどうするのかということについて具体的に対策を考えて提示することになるので、現時点でどうなるというのは時期尚早なので、ある程度見込みがたった段階で改めて提示してご意見をいただきたいと思っています。</p>

佐久間委員	わかりました。
深井委員	認定こども園の設立となると規模的にはどの程度のものを想定しているのでしょうか。
町長	そちらについてもまずはニーズを把握し、さらにある程度余裕を持たせる必要があると思います。また仮に民間の法人を誘致するとしたらどの程度の規模まで対応してもらえるのか、また土地の確保についてなど協議が必要になってくると思いますが、まずは把握できたニーズは対応していただけるように協議したいと考えています。
深井委員	ありがとうございます。現状対応できるものはやるということで賛成です。保育時間の統一についてもお願いしたいと思います。
高橋委員	<p>初めて聞いて大がかりなことなので驚きました。今の3園で満足していたところがあるので、0から5歳までの園もいいとは思いますが、もし新しい園をつくるとなると今ある園がもったいなく感じます。</p> <p>7時と7時30分を合わせることについてはやってほしいと思います。</p> <p>聖籠こども園で実施する子育て支援センターすくすくサロンさくらんぼをそだちの家に場所を移動するという案はいいと思います。</p>
町長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどふれませんでしたでしたが、町が幼稚園を保育の基本システムとすることは当時保護者から受け入れられたと思うのですが、いくつか課題もありました。例えば幼稚園では夏休みの給食の提供がないのですが、保育機能もあるのなら夏休み期間も提供してほしいという要望が以前よりありました。幼稚園を基本として保育を行ってきたが時代の流れとともに対応しきれないところから、具体的な要望があがってきているのだと思います。先ほど申し上げた、2か所に子供を送迎する大変さであるとか、来年度からは早朝保育については時間を統一する方向で検討していますが、朝の30分の差については仕事に間に合わないなど切実な問題であることや、夏休み期間には幼稚園だからお弁当を用意しなくてはならないなど、仕事がある核家族にはなかなか大変であるので今回見直す必要があると思われま。ただし、先ほど稲田委員からもありましたが、何十年と続く町の幼児教育の一つの姿ですから簡単に変えていいものかというのも重要な部分だと思います。そこは丁寧な説明が必要ですし、教育委員の皆様のご意見を拝聴しながら進めたいと思います。</p>

<p>教育長</p>	<p>事務局としては、まずは待機児童を発生させないということが最優先の課題となっていますので、子育て支援センター「すくすくサロンさくらんぼ」の移設についてはぜひ進めていきたいと考えております。</p> <p>また満3歳到達児への幼稚園入園については保護者の方々の希望を受けてということになりますので、よく希望を聞いて可能な範囲での受け入れになると思っています。</p> <p>もう一つ大きな課題は保育士の確保です。関東方面で好条件を出して地方から保育士をひっばっていくという時代の中で、我々がいかにして保育士を確保するかというのはまさに戦いの世界だと思っています。給与面や待遇面での改善ということについては大胆に打ち出して、施設はできたけど保育士がないということに陥ってしまわないように十分に検討する必要があると思います。</p> <p>それから現システムについてですが、前回の会議でもお話ししたと思うのですが「選択」と「競争」についてお話させていただいておりますが、その考えは今でも考えは変わっておりません。選択肢があるということは必要なことだと思っています。この方向性のなかで民間の方に0～5歳までの保育をお願いできるかということや打診していくことになろうかと思いますが、0～5歳児の「保育園」ではなく、「認定こども園」の方向性でお願いしたいと思っています。認定こども園で3歳から5歳まで幼児教育が行われると、公立で残った現こども園の教育の在り方と刺激しあうことになり、良い意味での競争関係が生まれることは幼児教育の充実という観点から必要なことだと考えます。違う立場の方々が何をどのように行っているのかということが、公立の幼稚園の先生方にとっては大いに刺激になるので大切にしていきたいと思っています。</p> <p>早朝の預かりですが、人的要員のカバーがないとなかなか難しいと思いますので、現状のこども園の先生方の動きがどのように変わるのかなど十分に良い体制を整えるために今後何が必要なのかつめていきたいと思っています。この方向性には賛成の立場で今後のことを考えていきたいと思っています。</p>
<p>副町長</p>	<p>社会の諸情勢が変化してきている中で保護者の方々のニーズがどこにあるのかをしっかりと見極めながら、また新たなシステムを考えていく際にもたくさん課題があるので丁寧に検討していく必要があると感じています。</p>
<p>町長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日は、いくつかご指摘もありそれを踏まえて検討していきたいと思っています。</p> <p>今ある3つのこども園や職員、またはそれらこども園の跡地利用につ</p>



いてどうなるのかという大きな課題があるのですが、これからつめていく部分です。無責任なことを言うつもりはないが、実際にどの程度の要望があるか分からない状態で一方的にこちらの考えで決められないので、まずは保護者のニーズをしっかりと把握する、あとは民間法人を誘致する方向で考えているが、教育のことをお金で決めるのはいかかかというのとは充分わかるが、現実公立で行う場合は良くて交付税算入という形ですが、交付税対応となれば本町は不交付団体ですので町の負担が非常に厳しい。私立であれば町も四分の一負担しますが、残り四分之三は二分の一が国、残りは県となり、その分保育士の確保に町独自の支援を行うこともできるので、できれば民間法人から了解いただいて話を進めたいという思いがあります。ただこれも民間法人とこれから話を進めていくことになるのでまだまだ見えない部分がありますが、これから大きな課題が多くあるので早めに動きたい。早めに動かないとどんどん遅くなるばかりなので、まずは保護者の方のニーズを把握したうえでこの方向性でいけるのか最後確認し、可能であるということなら実際の民間法人の方との話し合いに進んでいければと思う。その要所要所では改めて教育委員の皆様へ資料、情報を提供してご意見を求めていきたいと考えています。

まだまだ充分なご説明はできないところもあるのですが、100%確定ではないけれど、できれば今後この方向性のなかで動いていきたいということを委員の皆さんにご理解賜ればというのが今回の趣旨であります。

具体的なことを言えば、これで了解ということになれば教育委員会にこういう方向で動いてくださいという話をして、把握について速やかに行いたいと考えています。その結果についても紹介しますし、アンケート内容が大変重要ですので教育委員会の皆様のご意見をお伺いしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

今日の会議はこういったことで開かせていただいたのですが、こういう方向性で進めさせていただくということによろしいでしょうか。

(一同承諾)

町長

ありがとうございます。

ではこの基本的な考え方で教育委員の皆様とある程度お互い共通認識を持たせていただいたと理解させていただきます。

まずは要望の把握を急ぎやりたいと思いますので、まずは子ども教育課で案を作りますので、それを皆様に見ていただいて追加修正なりご意見をいただきたいと思います。当然現場の幼稚園の先生のご意見も聞きたいと思いますし、場合によっては民間の保育園の方のご意見も聞いた

	<p>方が良いと思っています。</p> <p>この動きが始まるといろんなことで保護者の方から皆様のところへ問い合わせがあらうかと思しますので、今日の状況をお伝え願えればとありがたいと思います。</p> <p>我々もアンケートを行う際には保護者の方に対しては文書なり口頭になるかはわかりませんが誤解のないように説明はすすめていきたいと考えていますのでよろしく願いいたします。</p> <p>この件も含めて他になにかありますか。</p> <p>資料2番の課題の中の上から5つめの文言を変えていただきたいと思っています。「3～5歳児の保育において現状にはないといえる教育面や運営面での・・・」という部分の「現状にはないといえる」というところがちょっとあまりにも今の町の教育がだめだと言っているに読めるので考えていただければと思います。</p> <p>もう一つ。総合教育会議の資料のタイトルはこれが一番の方向ですからこれはやむをえないと思うのですが、この概要と説明がありますがその前にもうひとつ資料というか、説明がほしいと思います。それは何かというと、聖籠町の幼稚園を作った経緯とか、聖籠中学校をああいう学校にしたのかといった聖籠町が教育を今までどういう風に考えてやってきたのかとか、要するに、これまで町がどういった教育を考え、実施してきたのか分かるようにしていただけたらと思います。</p> <p>その通りだと思いますし、前段のところには今までの町の教育方針があった方が良くと思いますし、この資料も必要あれば議会や説明会等にも使うと思いますので急ぎ追加して、それを委員の皆様へ配布するということがよろしいでしょうか。それでご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>3ページにつきましてはご指摘の通りだと思いますので、「3歳から5歳児の保育において、さらに教育面や運営面での相乗効果が必要とされます。」という風に修正したいと思います。事務局の方よろしく願いします。</p> <p>特にほかにないようでしたら議事はこれにて終了をさせていただきたいと思っています。</p>
稲田委員	
町長	